

農林水産大臣賞（個人の部）

全国各地で捕獲技術を指導・普及、自ら捕獲器も開発

須永 重夫 氏

栃木県足利市

主な取組

須永氏は、足利市における捕獲の中心的な担い手として活躍しており、同市で捕獲されるイノシシの約2割は須永氏が捕獲したものであるなど、同市の鳥獣被害軽減に大きく貢献。

また、その高い捕獲技術や野生鳥獣に関する見識を活かし、農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーとして県内はもとより全国各地で被害対策に関する助言・指導や研修会での講演等を行うなど、捕獲技術の指導・普及に積極的に取り組んでいる。

さらに、捕獲機材の開発にも取り組み、平成11年及び17年に捕獲檻及び捕獲わなに関する特許を取得するとともに、平成24年にはカラス被害を軽減する器具を開発し実用新案登録。須永氏開発の捕獲檻は、高い評価を得ており、各地で導入されている。